

肝臓における遺伝子不安定性とゲノム多型の解析および長期予後との関連

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	肝臓における遺伝子不安定性とゲノム多型の解析および長期予後との関連
倫理審査受付番号	第 倫ヒ092号
研究期間	2008年 5月倫理審査承認日～2023年 3月31日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に肝・胆・膵内科を受診されたウイルス性肝疾患、慢性肝炎および肝臓患者の方 2005年 4月 1日～2020年 5月31日
研究に用いる試料・情報	試料等
研究概要	(研究目的、意義) 肝炎から肝臓への進展は、肝炎ウイルスのタイプによっても異なるという多数の報告があります。一方で、この進展には

個人差も考えられていますが、これについては具体的な報告がありません。

本研究では、肝炎から肝臓への進展、線維化についてゲノムレベルで予測するために、ミトコンドリアゲノムの変異と遺伝子多型を検索します。

（研究の方法）

生検時または手術時に得られた肝臓の一部、末梢血を保存します。肝臓と血液よりDNAを抽出し、ミトコンドリア遺伝子の変異と遺伝子多型を調べます。

（外部への試料・情報の提供）

2016-2018年度日本医療研究開発機構肝炎等克服実用化研究事業に採択された川崎医科大学の研究分担施設となり、研究分担者（西口修平）として、本学から試料及び情報提供することになりましたが、この事業は終了しています。

（研究組織）

・兵庫医科大学病院 肝・胆・膵内科 准教授 榎本 平之
肝疾患の検体を集め、解析を行います。

・川崎医科大学消化器センター 肝胆膵内科 教授 日野 啓輔
鉄代謝とミトコンドリアの品質管理の解析を行います。

・名古屋大学医学系研究科 生体反応病理学 教授 豊國 伸哉
HCV排除に伴うゲノム変化の解析と病理組織解析を行います。

試料及び情報の提供機関は、川崎医科大学と名古屋大学ですが、この提供は終了しています。

（個人情報の取り扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

本研究に関する 連絡先

兵庫医科大学病院 肝・胆・膵内科
榎本 平之（研究責任者）

TEL | （平日 9:00~17:00） 0798-45-6472
（上記時間以外） 0798-45-6111